

事業報告書

団体名	越河地域振興会
代表者役職・氏名	会長 石川義博
事業名	越河を楽しむ会
実施した事業の内容 ・活動内容 ・実施日時 ・場 所 ・参加人数 等	<p>第1回 越河を楽しむ会 日 時：7月5日（土）10時00分～11時30分 場 所：越河公民館 参加人数： 24名（予定人数 15名） 活動内容：「第六次白石市総合計画 越河まちづくり宣言」の実現に向け令和5年度に、策定した地区計画を基本方針に、丸森町筆甫地区 吉澤武志氏を講師に招いて丸森町筆甫地区の事業紹介ということで話題提供していただき生涯学習の観点から交流事業を実施しながら、自分たちの暮らしにとって必要な事業や地域の暮らしの中で楽しめる事業を実施していくことが大切と筆甫地区の話題提供をしていただいた。 その後に、ワークショップを行いカレンダー方式で毎月の越河地区の取り組みについて確認後に、越河を楽しむわいわい意見交換を実施し各人が越河について放談を行った。</p> <p>第2回 越河を楽しむ会【視察研修】 日 時：9月26日（金）8時10分～16時20分 場 所：加美郡加美町【鹿原地区コミュニティ推進協議会】 参加人数： 29名（予定人数 25名） 活動内容：5テーブル別れ、吉澤先生にファシリテーターになっていただき、鹿原地区生活支援員高橋さんの概要説明で研修がスタートした。 地区特有の地域づくりに5専門部を中心に事業を進めている。</p> <p>【地域おこし部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流が盛んな笑顔あふれる鹿原にする 地域内で交流機会を実施し、顔が見えるようになってきた。 鹿原出身者やほかの地域の人参加しやすい場にするこ

とが人口増加のカギになることから自分の住む集落以外のお祭りは意外とウェルカムと話していた。

【くらし支援部】

- ・みんなで支え合う住みやすい鹿原にする
高齢者の一人暮らしの増加や空き家の増加など困りごと解決に公式LINEの活用、空き家対策としてセミナーを開催、地域間の連携をサポートして行く。

【情報発信部】

- ・過去・現在を記録し未来へ伝える鹿原にする
歴史・くらし・自然を語り継ぐ機会が少なく、若い人の参加が少ない、地域を出た人が戻ってこない。
活動をまとめた「IGUNARU」を発行しSNSを活用した広報誌や事業の周知。
鹿原公認キャラクターでのアピールを推進して行く。

【魅力発見部】

- ・魅力的なスポットやイベントのある鹿原にする
立ち寄れる場所をつくり、特産品の開発や秋まつりで「収穫祭」を実施生産する人、加工する人を魅力としてアピールする場ができた。

【楽しくまな部】

- ・みんなが楽しくスキルを磨ける鹿原にする
集まる場所がなく世代間交流が希薄になっていることから普段関わりの少ない世代が顔の見える交流をすることでニュースポーツを体験しながら会話も弾みお互いを見守れる。
少子高齢化による担い手不足により作業負担、鳥獣被害耕作放棄地の増加によって地区全体として取り組んでいる。耕作放棄地を活用した地域財源になるような取り組みを今後、期待したいと感じた。

第3回 越河を楽しむ会

日 時：11月22日（土）10時00分～11時40分

場 所：越河公民館

参加人数：12名（予定人数 20名）

活動内容：当日、他の行事と重なり参加者が少なかった。

9月26日に加美町鹿原地区へ視察研修に行ってみての感想を共有した。

続いて、越河を楽しむ懇談会と題して「みんなで決めよう越河アクション！」として越河アクションテーマ仮決めを行いグループごとに懇談した。

	<p>本年度は、懇談会を三回実施し越河の現在地として、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題が出ない、地域を良くする気持ちがない。 ・みんなで話し合っ課題を共有。 ・どうやったら課題を解決できるか考え案を出す。 ・やってみる。 ・修正してまた、やってみる。地域に根付く。 <p>今後は、地域の草刈り道路の維持管理、高齢者の暮らしを助ける・支援する活動、若い世代の仲間づくりや後継者の育成について検討課題になっていくと考えている。</p>
<p>事業の成果や効果</p>	<p>令和3年度から取り組んできた「越河まちづくり宣言」「越河地区計画」について様々な意見交換がされてきた。地域の課題をすべて解決は出来ないが、越河地区での生活維持や将来どのような地域にしていきたいかを考えて、住民同士が同じ方向を向いて進み長期的な視点で住民主体の「まちづくり」を地域住民と共有しながら目指していきたいと考える。</p> <p>各団体とも、会員募集を積極的に推進し若い会員を巻き込みながら今後の展開に注目したいと思う。</p>
<p>今後における事業展開</p>	<p>地区計画は、あくまでまちづくりの取り組みにおける手段のひとつで地区計画の必要性について各団体と情報共有しながら本年度も取り組みを考えている。</p> <p>当地区も、まちづくり宣言を達成するために「越河を楽しむ会」を今後も開催し、「みんなの夢は、地域の夢」の実現に向け、自分たちの地域を今以上に「住んでいてよかった」「これからもずっと住み続けたい」と思える地域としていくために、もう一度地域の現状を踏まえ住民総意のもとで、将来の地域づくりについて深く話し合い「まちづくり計画」の取り組みをサポートして行きたい。</p>

【地域づくり団体等→まちづくり協議会等】

様式第V号④

収 支 決 算 書

団体名 越河地域振興会

1. 収入の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	摘 要
白石市人と地域が輝く 未来共創交付金	426,120	426,120	
計	426,120	426,120	

2. 支出の部

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	うち交付金対象額
講師謝金	192,200	192,200	192,200
借上料	179,880	179,880	179,880
消耗品費	54,040	54,040	54,040
計	426,120	426,120	426,120

※支出を証する書類(領収書等)の写しを添付すること。